

「ていあんくん」に投稿

(タイトル)

議場の椅子の「取り替え」は、「修理不能な痛んだものだけ」にしてはどうか。

椅子取り替えの根拠(資料)を求める。

(本文) 3月の「令和6年度予算」の審議で、議場の椅子39脚を一斉更新する予算が通過しました。金額は椅子廃棄料・消費税を含め2,911,095円になります。

私が疑問に思ったのは、議長席、議員席、説明員席の全ての椅子を一斉に更新することにした判断です。2年ほど前、私と同じ議場の椅子に座っていた当時、議員の中から椅子の座り心地の悪さを耳にしたことが1度もなかったからです。私自身、それまで職場や自宅でも利用していた椅子と比べても、はるかに高級感のある座り心地が良かったものでした。40代に発症したいわゆるギックリ腰の後遺症に刺激を受けることもなく利用していました。このたび、「議会の椅子の総入れ替え」の事実を知った私は、『総入れ替え』に強い違和感を覚えました。なぜなら、まだ使用できる椅子も廃棄し購入するのかもしれないからです。私は、情報公開条例を使って議会事務局に、「①椅子に皮のすり切れ状態②高さ調整機能の不全」等に状況を写真の添付も含め開示を求めましたが、『文書が存在しない』との回答でした。提供された資料には、議長、議員、説明員それぞれの椅子の購入年が『平成2年』『平成8年』『平成10年』と記載されていましたが、個々の椅子の『状態』に関する説明、資料はありませんでした。自分の懐からお金を出す場合は、『修理しても直らない状態の悪いもの』だけ交換するのではないのでしょうか。側聞するところでは、まず、説明員の椅子を変えたいとの話があった。町長、副町長の椅子の座りが悪い。答弁のための起立前後の腰の整えがよろしくない等々から、説明員の椅子を一括交換するという話が出て、その際、議長、議員の椅子もついでに(?)取り替えよう。という話になった、とのことでした。また、働き方改革の1つとして、「職場環境の改善」の一環だとの説明も聞きました。

改めて、担当課の説明を求めます。

①議長の椅子 1脚 160,550円 の交換の必要性を示す根拠、

②議員の椅子 1脚 61,800円 (12脚分 741,600円)

③説明員の椅子 1脚 53,050円 (26脚分 1,379,300円)

②③の一括購入の根拠。それぞれどんな状態なのか。具体的に文書での説明を求めます。